

2022年3月23日

近畿日本鉄道株式会社

ヤンマーホールディングス株式会社

ー針中野駅を長居公園、植物園の玄関口としてリニューアルしますー

近鉄とヤンマーが共同で駅をデザイン

～針中野駅の副駅名を「長居公園 植物園前」にします～



<コンコース階(改札外)>(イメージ)

近畿日本鉄道株式会社(本社:大阪市、社長:都司尚、以下近鉄)とヤンマーホールディングス株式会社(本社:大阪市、社長:山岡健人、以下ヤンマー)は、長居公園および長居植物園のリニューアルに合わせて、植物園の北東ゲートから最も近い駅である針中野駅を長居公園、長居植物園の玄関口として、公園や植物園をイメージした親しみあるデザインにリニューアルします。

駅のデザインは近鉄とヤンマーが共同で行い、公園や植物園をモチーフにした装飾を施します。近鉄が民間企業と協力して駅をデザインすることは初めての試みであり、ヤンマーも駅という公共空間をデザインすることは初めての取り組みとなります。

今回のリニューアルにより、副駅名を「長居公園 植物園前」とし、長居公園へは近鉄電車でも行けることを広く周知して、より多くの方に鉄道をご利用いただける快適でわくわくできる駅づくりを目指します。

これからも近鉄とヤンマーは地域に根差す企業として地域のにぎわいを創出し、発信する取り組みを実施していきます。

■針中野駅リニューアルの協業について

・協業の背景

2021年4月に東住吉区が「東住吉区まちづくりビジョン」を策定したことを機に、近鉄とヤンマーのグループ会社で長居公園の指定管理事業者であるわくわくパーククリエイティブ株式会社(WPC)が地域と連携した施策を双方で検討を進めてきました。

近鉄は、駅という空間を通して、地域の方とコミュニケーションを深めていきたいという思いがあり、また、WPCは地域の大きな魅力である長居公園の素晴らしさやこれからの変化に対する期待感を地域全体に広めたいとの思いから、ヤンマーのデザイン部門と近鉄による駅のデザインをリニューアルする取り組みを実施することになりました。

・近鉄の取り組み

近鉄では、「地域やそこで暮らす人々との共生」をテーマに、もともとずっと、親しまれ、愛され、住まいとして選ばれる沿線でありたいという思いから沿線それぞれの地域が持つ多様な魅力を発掘し、それを地域の方と一緒に広く届ける取り組みを実施しています。

今回リニューアルする針中野駅は大阪阿部野橋駅から約10分という交通至便な立地に加え、長居公園や駒川商店街など個性豊かな魅力あふれる地域に位置します。このような地域の持つ魅力を駅というフィールドを通して発信し続けることで、地域の方との連携をより深め、愛される駅、愛される沿線を目指します。

また、本日3月23日(水)に大阪市東住吉区と近鉄で、協働による活動を推進し、東住吉区内における地域および鉄道沿線の活性化を図ることを目的とした協定を締結しました。既に針中野駅へのシェアサイクルポートを設置するなど、今後も駅を拠点とした地域の発展および沿線の魅力向上に寄与していきたいと考えています。

・ヤンマー/わくわくパーククリエイティブの取り組み

ヤンマーのグループ会社であるWPCは、長居公園の指定管理事業者として、自然環境を守るテクノロジーの導入や再生可能エネルギーの採用、来園者がわくわくできる新しいコンテンツの創設などを行い、2022年夏に「食・スポーツ・アート・学び」を軸として長居公園をリニューアルします。またヤンマーは、長居公園のデザイン監修に携わっており、ヤンマーグループの強みを活かして世代を超えて心に残る公園づくりを目指します。

■針中野駅リニューアル概要

駅名：近鉄南大阪線 針中野駅

所在地：大阪府大阪市東住吉区駒川5丁目24番8号

リニューアル内容：

- (1)副駅名の設置「長居公園 植物園前」(4月)
- (2)シェアサイクルポートの設置(今川駅、矢田駅にも設置済)※2022年3月に設置済
- (3)ホーム階の美装化(4月)
- (4)コンコース階の美装化(7月)
- (5)情報発信スペースの設置(4月)

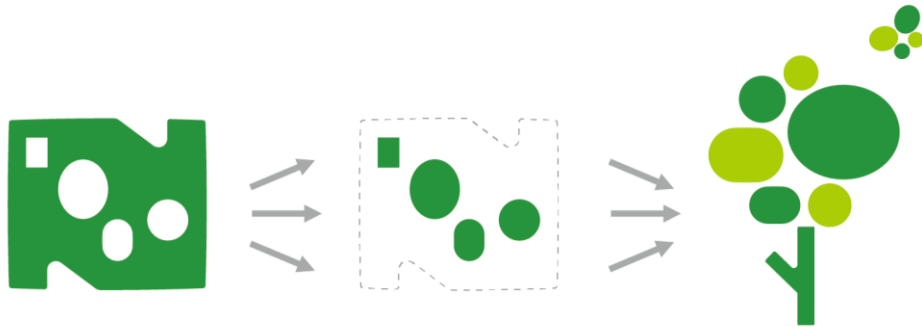
デジタルサイネージ、ポスター、チラシなどを活用した地域の情報発信

- (6)トイレの美装化(7月)

着工：2022年2月

完工：2022年7月(予定)

デザインコンセプト：長居公園・植物園のロゴを構成している丸や楕円などの図形を使用し、植物や虫を表現。駅の柱を木に見立てるなど、構造物を利用してデザインし、駅全体で園のイメージを伝えます。駅利用者が長居公園・植物園のわくわくを感じられるようデザインしました。



<デザインコンセプト>



<ホーム階>(イメージ)



<コンコース階(改札内)>(イメージ)

【SDGs への貢献】

沿線の文化・観光振興 (8. 働きがいも経済成長も)

駅を拠点とした地域の活性化、魅力発信 (11. 住み続けられるまちづくりを)

シェアサイクル整備による交通利便性向上 (11. 住み続けられるまちづくりを)

企業間連携、地域との連携 (17. パートナーシップで目標を達成しよう)



<注記>

記載されている内容は発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

参 考

【近鉄沿線価値向上の取組み】

近鉄では、「地域やそこで暮らす人々との共生」をテーマに、もっとずっと、親しまれ、愛され、住まいとして選ばれる沿線でありたいという思いから沿線それぞれの地域が持つ多様な魅力を発掘し、それを地域の方と一緒に広く届ける取組みを実施しています。

こういった取組みが沿線の皆さまの心地よい暮らしにつながり、一緒に幸せな物語をつむげるよう、これからも取組みを続けてまいります。

1. プログラミング教室「ロボ団」との連携

- (1) 概要 全国で展開するプログラミング教室「ロボ団」と協業し、鉄道をテーマとしたプログラミング教材の開発、合同イベント等を実施。大和西大寺駅校は近鉄とのコラボ校で、専用デザインとなっています。
- (2) 対象校 学研奈良登美ヶ丘、富雄、上本町、大和西大寺※コラボ校（開業順）

2. WEB サイト「住むまち近鉄ストーリー」の公開

- (1) 概要 住まいとして選ばれる沿線を目指した、沿線価値向上の取組みを紹介するWEBサイトを公開中。
- (2) 掲載している取組み ※2022年3月時点
 - ・生駒山エリア活性化プロジェクト ・鉄道×ロボットプログラミング教室プロジェクト
 - ・白子駅 美装化プロジェクト ・鉄道ロゲイニングプロジェクト

3. UR との包括連携協定の実施

- (1) 概要 沿線に73団地、約3万個の団地を保有する独立行政法人都市再生機構（UR）と連携し、沿線地域の魅力紹介やイベントによる交流人口の拡大、ならびに地域の暮らしや活動の支援、情報発信、転入促進および定住促進に取り組み、地域の活性化を図っています。
- (2) 近鉄京都線、高の原駅周辺エリアでの取組み
 - ・地域情報誌の「るるぶ特別編集 暮らしてみたい街 けいはんな Takanohara」の配布
 - ・近鉄オリジナルの「てくてくまっぶ高の原コース」の新設とハイキングイベントの開催
 - ・高の原駅での傘シェアリングサービス「アイカサ」の導入

4. 生駒市との協業

- (1) 概要 生駒山エリアにおいて、「レトロ」をテーマにした地域ブランディングによる活性化に取り組んでいます。
- (2) 実施事項
 - ・「生駒レトロ」をテーマとした WEB ページ、Instagram の開設
 - ・「生駒レトロフォトコンテスト」の実施実施期間：2021年8月1日～2021年10月10日

5. 八尾市、株式会社みせるばやおとの取組み

- (1) 概要 八尾市、株式会社みせるばやおと連携して、沿線である八尾市をはじめ大阪の”ものづくり文化”の魅力を発信することで、沿線の活性化や地域貢献を目指します。
- (2) 実施事項
 - ・こうばの電車 FactorISM(ファクトリズム)in 近鉄電車」を開催実施日時：2022年3月27日(日) 10時30分～15時30分(予定)
場 所：大阪上本町駅8番線停車中の車内および9番ホーム